

# 笑顔のために



同僚と一緒に挑んだ、JICA ボランティア秋募集ポスター撮影の様子（筆者中央）（撮影：和田浩 / JICA）

## 日本語番組を通して、日越友好の架け橋に

「こんにちは、ジャパンリンクの時間です」毎週日曜日になると、テレビからベトナム人キャスターの流暢な日本語が聞こえてきます。

私は青年海外協力隊として、2016年7月からハノイに局舎を構えるベトナムテレビ外国語放送局（VTV4）で活動しています。VTV4は国営局であるベトナムテレビに属する9局のうちの1局で、ベトナム在住の外国人や海外向けに、日本語をはじめ、英語やロシア語、中国語、フランス語、ベトナム語の番組を放送しています。ここで2013年5月、日越外交関係樹立40周年を機に、ベトナム初の日本語番組として産声をあげたのが、「ジャパンリンク」です。週1回、30分間の放送では、日本とベトナムに関する政治、経済、ビジネスニュースに加え、両国の文化やベトナムで活躍する日本人を紹介しています。私はここで、番組アドバイザーとして、主に、正しい日本語や視聴者に伝わりやすい表現ができるように、ベトナム人スタッフへの日本語アナウンスの指導、原稿の添削をしています。

赴任当初は、ハイスペックな放送設備、豪華なスタジオ、日本製の簡易的な洗浄器付き便座まで整備されたトイレなど、日本と差異がない局舎に驚いたものです。さすがはベトナムの首都。国家レベルの機関は先進国に引けを取りません。配属先の事務所では、各チームのスタッフが流暢な外国語でナレーションを録音する声が聞こえていました。エリートの集まりだ…と思ったのが配属先の第一印象です。そんな衝撃と、私で務まるのだろうかとの不安を



体験コーナーレポートの様子

抱えたまま、活動開始。私の番組制作経験は5年で、同僚とさほど変わりません。そのため、日本語のアナウンス指導や原稿添削に関しては、母国語話者とアナウンス経験者の誇りを持って徹底的にやっていますが、番組企画や構成については、上から目線で「指導」するのではなく、「一緒に考える」姿勢を貫いてきました。当初は、同僚が企画したネタに対して、原稿添削の段階で、助言する程度でした。しかし、出来上がった原稿に変更を加えるのは時間的制約もありなかなか難しく、もやもやした思いを抱えていました。転機が訪れたのが昨年4月。同僚の一人が、ベトナム伝統の舞台芸術である水上人形劇を紹介したいから、日本人体験者として私にレポートしてほしいというのです。これを機に、主体的に制作に携われるようになりました。日本人として何が知りたいのか、どんなことに興味があるのかを、企画段階から同僚とことごとく話し合います。お互いの伝えたいことがすれ違うこともあり、一筋縄ではいきませんが、地道なこの作業を通して、同僚との心の距離もぐんぐん縮まり、「アドバイザー」の立場を越えて、「チームの一員」になった気がします。

活動開始から1年半が経過し、最近よく思うことがあります。自分の考えをしっかり持った優秀な同僚たちに対して、私に何ができるのか。それは、私がいることで、同僚たちが色んなことに挑戦し、経験を増やし、ステップアップすることなのではないかと。2017年の年末スペシャル番組では、ベトナム人同僚が日本語での体験レポートに挑戦しました。また、スタジオにゲストを招いて、楽器の演奏をしたり、トークをしたりしました。どれも初めての体験です。同僚たちがこれからも安心して挑戦できるよう、よき相談相手として、これからもお手伝いしていけたらと思います。

今年、日越外交関係樹立45周年を迎えます。日本をこよなく愛するベトナム人が思いを込めて制作した番組を通して、視聴者に両国をより身近に感じてもらえるよう、同僚とともに邁進していきたいです。

日本語番組「ジャパンリンク」

毎週日曜日 14:30～、20:00～（各30分間）

チャンネル：VTV4

VTV4公式 Youtube でも配信！

<https://www.youtube.com/vtv4go>

⇒VTV News in other languages⇒Japan Link

### ●プロフィール

稲元 浩子（いなもと ひろこ）

宮崎県出身。新卒で入社した地元のケーブルテレビ局では記者、MC、ナレーター、番組編集など、制作全般を5年ほど経験。退職後、2016年7月より青年海外協力隊として、ハノイ市のベトナムテレビ外国語放送局（VTV4）にて活動中。

